

令和6年度 産業廃棄物税充当事業 実績報告書

事業名：	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（白石工業高）
事業実施期間：	平成29年度から令和6年度
担当課室名：	高校教育課
担当班名：	キャリア教育班
TEL：	022-211-3625
e-mail：	ko-career@pref.miyagi.lg.jp
URL：	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/car-top.html

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成するとともに、木造建築物解体時に排出される構造材の有効活用法を検討する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

- ・木造建築物の各種廃材を活用し、木工製品の制作に関する学習をし、実際に設計・製作を行った。また、循環型社会の実現に向け、諸施設（産業廃棄物の処理状況等）の見学を通じて、ものや資源について考える機会を設けた。
- ・SDGsマルシェ2024をはじめ、蔵王自然の家フェスティバル、全日本こけしコンクールなどの各種イベントに参加し、廃材を使用した作品を展示するとともに、来場された方々に廃材を活用したもののづくりを体験してもらい、環境について考える機会を設けた。
- ・過年度に引き続き、木製玩具、組子テーブル、木製収納ベンチなどの作品製作を行った。
- ・実施にあたり宮城県建設業組合、地元工務店（大工）、設計事務所（建築士）、木工建具職人と連携し、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能の指導をとおり、循環型社会に貢献できる人材の育成を行った。
今年度の製作物は以下の通りである。
- ・地域の保育園児用の木製玩具製作（8作品・贈呈先：みのり保育園）（リングトス、卓上ビリヤード、積み木入り自動車、ドーナツ屋さんセット、木琴、立体パズル、ケーキ型パズル、木製滑り台）
- ・その他廃材を活用した作品制作
木製の長椅子（9台）、木製作業台（2台）、木製踏み台（27台）
- ・木製カレンダー製作（300個） ・ テニス部のベンチ兼収納ボックス（2台）
- ・伝統工芸『組子』の技法を活用したテーブル製作（1作品）
- ・木製の収納棚（高さ1000×幅800×奥行450）（3台）
- ・ものづくりコンテスト・技能検定の練習材料への転用（廃棄木材を再加工して練習材として使用）

3 当該年度の実施事業の成果

- ・廃材を活用した木製玩具等を、白石市内の保育園（みのり保育園）に寄贈した。制作したものを利用していただくことでものづくりの果たす役割を理解するとともに、地域社会への貢献が図れた。
- ・廃材を活用した木製カレンダーを製作し、文化祭や各種のイベントにおいて体験コーナーを運営したり、来場者にプレゼントしりした。廃材が自分達のものづくり活動によって再び活用できることを学ぶことができた。
- ・ものづくりコンテストや技能検定において、廃材を再加工して練習に必要な材料を多数用意できたことにより、練習回数を十分に確保することができた。
- ・循環型社会の形成に関する課題解決型学習として、施設見学や専門技術者を講師として招いた実践的な学習を通じ、地球環境に配慮した産業活動に関与できる人材の育成が図られた。
- ・事業を通して地域の各種団体や企業との連携・協力体制が構築できた。

4 今後の展開

- ・本事業を通して地域の各種団体や企業と構築した連携・協力体制を活用して、専門的技術指導の講師確保と解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等を確保するために、今後も学校と地域連携・協力体制を維持していくことが継続的な人材育成を図るために必要である。
- ・解体木造住宅からの解体材の継続的な確保が必要である。将来的には再利用可能な材料としてストックし、新築・改築材料として供給できるよう関係機関と検討が必要である。
- ・継続事業の成果として、製作した作品を寄贈してほしいとの多方面より要望をいただくが、十分に対応できていない。一品モノの作品だけではなく、汎用性の高いより簡便なものも製作できるように計画段階から配慮と工夫をしていく必要がある。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
233	266	219

6 事業費の推移

単位：千円

令和4年度	令和5年度	令和6年度
2,395	2,419	2,498